

牛久愛和総合病院 院内感染防止対策に関する基本方針

はじめに

病院理念である「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」の3つの柱を基に、患者さん、職員、来院者等、牛久愛和総合病院(以下、当院)に関わるすべての人に対し、「感染症から守る」ことを目的としています。

感染症を未然に防ぐための「予防策」を平常時から徹底し、感染症が発生した場合は、その拡大を防ぎ、速やかに収束させるための「対策」を講じていきます。

1. 基本的な考え

安全確保

患者さんや職員等の安全を最優先に考え、最善の医療を提供するため、院内全体で感染防止対策を継続的に取り組んでいます。

標準予防策(スタンダードプリコーション)

感染症の有無にかかわらず、すべての人を感染の可能性があるとし、手指衛生(手洗い・手指消毒)、適切な個人防護具(手袋、マスク、エプロン・ガウン等)の選択と着脱や環境整備を徹底しています。

感染経路別予防策

感染力の強いまたは特定された感染症に対しては、感染経路に合わせて接触予防策、飛沫予防策、空気予防策を標準予防策に加えて実施します。

2. 組織体制

院内感染対策委員会：各部署の部長や副部長が月1回集まり、下部組織である院内感染検討委員会からの報告を受け、提案やマニュアル改訂案等を審議、承認をする組織です。

院内感染検討委員会：各部署に1名委員が配置されており、院内感染対策を実働する組織です。委員は、医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務部門、管理栄養士、保育士、委託清掃責任者等、多職種で構成されています。

院内感染対策チーム(ICT)：院内感染対策を円滑に行うため、感染制御に関する専門知識を持つ多職種から構成されたチームです。院内ラウンドを週1回実施、現場での感染予防と対策が適切に行われているかを確認しています。他、その場での指導や必要に応じたサポートも行っています。

抗菌薬適正使用支援チーム(AST)：医師、薬剤師、検査技師、看護師で構成されたチームです。抗菌薬の副作用や耐性菌の出現を抑えるための適正使用を支援しています。

院内感染対策室：専任看護師と室長(兼務)が常駐しています。感染制御領域に関する事務局の役割他、感染症発生時の分析や統計、情報収集、設備管理、地域での教育、保健所(茨城県)との連携を担っています。

3. 具体的な院内での感染予防と対策

手指衛生の励行：手指衛生のタイミング(患者さんに接触する前後、清潔操作前、排泄物処理後、パソコン操作の前後等)を定めて周知し、アルコール・ノンアルコール消毒剤での手指消毒、目に見える汚れが手についている時は、泡石けんで手洗いを行っています。

サーベイランスの実施：院内の感染状況を継続的に監視(サーベイランス)、感染症の発生動向を把握・分析しています。これにより、適切な対策を講じ、感染率の低減に努めます。

環境整備：清掃委託従業員が床面や空調、トイレ等の清掃を担当、病棟職員がベッドまわり等の清掃を担当しています。清潔で安心感のある療養環境を提供しています。

医療器材の適正管理：使用した器材の再処理(洗浄、消毒、滅菌)手順を統一し、交差感染を防止しています。単回使用の器材は再利用しないことを原則とします。

抗菌薬の適正使用：抗菌薬適正使用支援チームによる抗菌薬の使用状況を監視・管理を徹底し、薬剤耐性菌の抑制を目指していきます。

針刺し・切創・粘膜曝露防止対策：職員の安全確保のため、安全装置付き器材での手技を徹底しています。また、鋭利物や汚染物の安全な廃棄、運搬方法を強化しています。

4. 研修・教育

職員教育：感染予防・対策の重要性を周知するため、委託業者を含む全職員を対象とした研修を年2回実施しています。他、新入職者の初期研修、中途採用者の入職時研修を行っています。

マニュアルの整備と周知：感染予防・対策に関する最新の情報に基づき、具体的な手順を記載したマニュアルを整備、全部署に配布・周知しています。電子カルテトップ画面からも、マニュアル閲覧ができるように整備しています。

職員個別指導：手指衛生や個人防護具の着脱等について必要、職員への個別指導を行っています。

5. 発生時の対応と情報共有

感染症発生時の対応：重大な院内感染が疑われる事態が発生した際は、院内感染対策室から速やかに病院長、副院長、看護部長、事務長等に報告し、原因究明と拡大防止のための対策を講じます。

患者さん・ご家族への説明：感染症発生時の状況について情報を提供し、院内感染対策の協力を求めます。

保健所(茨城県)への報告・連携：感染症法に基づき、必要な情報を速やかにまず保健所へ報告・相談を行っていきます。

地域連携：他医療機関や福祉施設等との連携を通じ、地域全体での感染予防・対策の向上を目指していきます。

2025 年 12 月 1 日

牛久愛和総合病院 病院長